

研修5日目。登校時の気温はマイナス6℃。昨日に引き続き厳しい寒さの中、生徒さんは時間通りに登校してきました。通学経路にもすっかり慣れたようです。本日は遅刻の電話もありませんでした。時間通りに動くこと、先を読んで行動することがボストンでも実行できるようになってきました。

昨日のアクティビティに参加した生徒さんは、留学生との交流を満喫できたようです。毎朝回収している研修のしおりには、「とても楽しかった!」「余計なことはあまり考えずに沢山話すことができた」と書いている生徒さんが多くいました。しかし、その中でも「皆が楽しめているのに、自分はほとんど動けなかった。」と悔しい思いを綴っている生徒さんもいました。語学学校で過ごす時間は後わずかです。日本に帰ってから後悔をする位ならば今動き出せば良いのに、それが分かっているにもかかわらず出来ません。昨日生徒さん同士で話し合ってもらった際にも、「自分だけが取り残されているように思っていたけれど、同じように動き出せない思いを抱えている人がいる。」と感じた生徒さんは少なくありませんでした。傍目には順調に研修に参加しているように見えても、心の内で葛藤を抱えている場合もあります。昨日の話し合い、その後のアクティビティでは多くのことを感じ取れたようです。

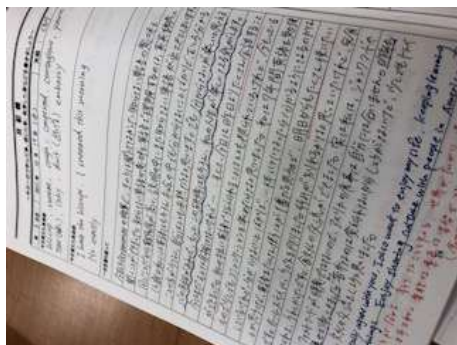
本日はレッスンの後、ハーバード大学（HVD）のキャンパスツアーに参加しました。キャンパスを案内してくださるのは、東大を卒業後、HVDで生物学を研究している大学院生の王さんです。MITを案内してくださった方の弟さんにあたります。予めご兄弟でツアーをしてくださると聞いていた生徒さんは、「兄弟そろって東大に進学するだけでも凄いのに、兄はMITで弟はHVDで研究しているとは、どういうことなの!?!」と王さんにHVDでお会い出来るのを楽しみにしていました。ジョン・ハーバード像の前からツアーが始まります。学生寮に取り囲まれたHVDヤード、世界有数の蔵書量を誇るワイドナー記念図書館、メモリアルホール（1年生が使う食堂は映画ハリ・ポッターで出てくる食堂のようなデザインです）。王さんは時折クイズを交えながら、説明をしてくださいました。その後、なんとメモリアルホール内で王さんへの質疑応答を実施することになったのです。通常、メモリアルホールの内部はいつでも入れるわけではありません。本日は幸運にも見学することができ、更にその中でお話を聞けることになりました。王さんからは、なぜ生物学を学ぶことになったのか、HVDで学べることは何なのかを教えてくださいました。曰く、HVDには世界各国から優秀な人材が集まってくること、全米屈指の論文発表数であること、英語圏で研究の経験を積む事が大切であること。また、アメリカならではのワークライフバランスが自分に合っていることや、浪人時代のエピソードも教えてくださいました。荘厳なステンドグラスやシャンデリアで装飾されたホール内で聞くお話は、何か特別な経験を共有できたように感じました。

王さんとのツアーを後に、一行は語学学校に戻ります。日本人企業家の松川原氏から、「グローバル時代に求められる人材とは」と題して講演をして頂きました。松川原氏は日本の大学を卒業後、日本で企業に務められ、渡米後に独立をされた方です。現在はボストンで医療関係のマーケティング業務に携わっています。IT化が叫ばれて久しい中、今はAIの波が来ているとの話題から始まりました。仮想通貨ビットコインの台頭、それによる日本国内の銀行に影響が出ること。シンギュラリティや、IOT がもたらす全く新しい価値の創造など。エネルギッシュな口調と普段聞きなれない言葉に、一瞬怯む生徒さんたち。しかし話が進むにつれて、多くの生徒さんが前のめりで話を聞くようになりました。ネットの普及や機械化が進む中、社会から求められる人材になるには、大学時代をどう過ごすのか。また、今現在の心の持ち用や考え方はどのようにすればよいのか。時に話題は大きく（社会問題や経済）、時に小さく（自分の内面との向き合い方）、しかしそれぞれの生徒さんの心にインパクトを与える言葉で話されました。松川原氏の話が終わった後も、廊下で「とても感動しました」と氏に伝える生徒さんも出るほど盛況のうちに幕を閉じました。多くの生徒さんが集中し、楽しみながら講演を聞く一方で、やはりここでも眠ってしまう人がいました。顔ぶれを見ていると、MITでも居眠りをしていた顔が散見されました。自分に興味がない話題だったのかもしれませんが。時差ボケが続いて体が辛いのもかもしれません。しかし、条件は皆同じです。せっかくグローバル研修に参加し、忙しい時間を調整して来てくださっているゲストの前で居眠りをすることは、本当に残念なことです。何の為にこの場所に来ているのか、貴重な時間を自ら無駄にしていないのか、そんな態度で本当に後悔しないのか、深く考えてもらいたいと思います。

最後のご報告になりますが、昨日帰宅の連絡を忘れた2名が、今朝登校してすぐに謝罪に来ました。「今後は電話することを忘れないように、“電話する”と紙に書いて壁に貼りました」と言ってくれたのです。別件ですが、実はボストンに着いた日に宿泊したホテルに現地で使用する携帯電話を忘れてきたペアがいました。紛失してしまったことについての反省もありましたが、彼女達がその後に行った行動は「携帯電話を持つ担当を日替わりで変更する」とのことでした。相手が持っているから大丈夫だろうと安心してしまった所に行動の隙ができたと考え、二人の責任で管理する、と行動に移してくれたのです。（携帯電話はその後見つかりました）どんな時でもミスは起こります。人間ですから忘れることも失敗することもあります。しかし、生徒さんは「どうやったら改善できるのか」を素直に考え、改善した行動を私たちに見せてくれます。さすが優秀な生徒さんの集まりです。講演中に居眠りをした生徒さんたちが今後どのような成長を遂げるのか、続きは今後の報告書をお待ちください。以上が本日のご報告になります。

後悔の気持ちが綴られています

HVD ツアー



メモリアルホール内での質疑応答

松川原氏の講演



多くの質問が飛び交いました

